

安全衛生活動

R7年4月号

社員の皆さん、4月は、「春の全国交通安全運動（4月6日～4月15日）」が進められています。株式会社雄交では、昨年から、通勤、勤務時における事故が大小問わず多く発生しております。

全国交通安全運動は、交通災害を防止するために産業界での自主的な活動の推進と、職場での安全運転に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着を目的とした運動ですので、今回は、皆さんとともに、交通事故を「0」に近づけるために下記の交通事故を防止のための5つの行動を意識して頂き、4月以降での交通災害（事故）0件を目指しましょう。

交通事故防止のための5つの行動

「もしかして とまる みる まつ たしかめる」

◆もしかして 危険予測

もしかして、自動車・バイク等・自転車・歩行者が来る（動き出す、急に方向を変えるなど）かもしれないという意識を持つ。（起こり得る危険を予測する。）←



◆とまる 一時停止←

「とまれ」の方式への意識を持ち、速度ゼロにして完全に止まる。←



◆みる 安全確認

左右、前後、まわりが安全かどうかを自分の目でしっかり見る。←



◆まつ 安全確保←

心・時間にゆとりを持ち、安全が確保されるまで、人や車が通過するのを待つ。←



◆たしかめる 再確認←

安全に横断、通行ができるかどうか、もう一度、よく確かめる。←



ご安全に！